

けんぽQ&A

Series73

Q 「院外処方」について教えてください。

A 昔は、各病院・診療所にて診療受診後に、医師の判断のもとその病院・診療所にて薬の処方を受けておりました。

最近では、受診した医療機関で「薬の処方せん」を渡されて、医療機関の外にある薬局にて、薬の受取りをする形が増えてきています。

外で薬を受け取る方法となった目的は、医薬分業ということで「質の良い」医療サービスを「効率的」に供給することを医療の基本にしていくことがきっかけで、医療分業が発展してきました。

下記の理由により医薬分業がはじまりました。

- ① 病院待合室の混雑の緩和や調剤の待ち時間の短縮が望まれたこと。
- ② 先進国で医薬分業の進んでいない国は日本だけであること。
- ③ 服薬内容に対する関心の高まりに伴い、服薬指導の充実等が求められたこと。

また、薬の履歴を薬局・薬剤師が掌握することで、重複投与の防止となり、薬害（副作用や相互作用によるもの）を未然に防ぐことにも役立っています。

薬の処方を受ける際には、医師の判断に伴いますが、できるだけジェネリック医薬品を希望していただけたら幸いです。

